

# ナカヤマ精密株式会社

熊本県阿蘇郡西原村

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

## 「最終仕上げは手仕上げで」、熟練技術の継承と最新鋭設備の融合によるナノ単位の超硬合金加工を実現

- 高度な超硬合金加工技術を武器に、ユーザーのニーズに応えるオリジナル品を製造
- 積極的に地場の学生を採用し、徹底した人材育成を行うことで日本でものづくりを継続する競争力を確保
- 積極的な設備投資と地場の大学等との連携により、航空機、医療分野などの新分野展開を加速

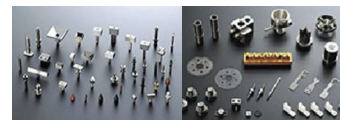
### 企業基本情報

所在地	熊本県阿蘇郡西原村小森 3606
電話/FAX	096-279-3737/096-279-2055
URL	http://www.nakayama-pre.co.jp
代表者	代表取締役社長 中山 慎一
設立	1969年
資本金	4,800万円
従業員数	200人



### 会社概要

半導体・電子部品製造装置に使われる特殊部品を中心に、幅広い精密部品の設計・製造を行っている。主力は半導体チップの吸着搬送用ノズルで、国内シェアはトップクラス。過去には、小惑星探査機の制御ノズルを製造した実績を有する。近年は、これまで培った超硬合金加工技術をベースに、積極的に大学等との連携を図るなどして、自動車、航空機、医療分野等の新分野展開を加速。



代表的な精密部品

### 革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

#### 高度な超硬合金加工技術と出荷前全品検査でユーザーの信頼を獲得

同社は、年間約 400 社のユーザーを相手に、約 12,000 種類の製品を製造・納品している。これまで培った高度な超硬合金加工技術（細穴加工、ナノ加工、PCD加工（焼結ダイヤモンド）等）を武器に、ユーザーのニーズに応えるオリジナル品を製造。全製品のうち約 6 割の製品は、最終仕上げ工程において「手仕上げ」を実施。さらに、工程内検査や改善活動を繰り返し行うとともに、出荷前に全品を検査する徹底した品質管理を行うことで大手ユーザーからの信頼を獲得してきた。



大手ユーザーが信頼をよせる最終手仕上げ・出荷前全品検査・改善活動

#### 現代の名工・三津家敏幸氏を迎え、全社員の技術力向上に注力

2007年、金属加工のスペシャリストである三津家敏幸氏（元 NEC、1991年：現代の名工選出、2005年：黄綬褒章受賞）を工場長（その後、技術顧問）として迎え入れ、熟練技術を伝承していく場として「三津家道場」を開催。全社員技能士（国家検定 1 級・2 級取得）を目指して必要に応じた訓練を行っている。金型修理の場合、機械を用いるより手作業の方が効率的な場合があり、全社員の技術力向上が業務の効率化・高度化に繋がる。



三津家道場での研修の様子

#### 地場の大学や産業技術センターとの連携による新技術・新製品開発

これまで、熊本大学や熊本産業技術センター等と連携し、金型部品の耐久性を向上させるために施す PCD 加工（ダイヤモンドを高温高圧で焼き固めたもの）の共同研究や、医療関連機器の開発（2013 年度地域中小企業イノベーション創出補助事業を活用、採択テーマ：iPS 細胞や癌細胞等から新規バイオマーカーを高感度に検出するプロテオミクス装置の開発）等に取り組む。地域が有する技術シーズを活用した事業化に積極的に取り組む。



産学連携による新技術・新製品の開発